

しんめいばら

回 覧

第 145 号
2017.5.20

定期整備!

五月七日(日)連休最後の日曜日でしたが子供会・愛護会員二十三名の参加により整備を行いました。今回は(公財)グリーンバンクより配布をいただいたサルビアなど三種の種をトレイに播き、ゼフィランサスの球根植え付け、このところの好天で花壇一面に生えた雑草取りなどの作業を行いました。種まきに初めて挑戦した子供達は、会員の指導を受けながらやや緊張の面持ちでしたが、一生懸命作業を続けました。これから草花を大切に育てる子供に育ててゆくとしよう。



初めての種まき作業です!

静岡市花と緑のまちづくり協議会主催の「第十二回花壇コンクール」に応募したところ、二度目の「優秀賞」を受賞し四月二十二日日本平運動公園多目的広場にて表彰式が行われました。公園中央にある瓢箪型の花壇に色とりどりのビオラ四百株を使い、デザインは当日女性会員が現場に集りあれこれと知恵を出し合って完成させた花壇でした。これからも皆で楽しい花壇づくりを続けたいと思います。



花壇コンクール!



二度目の「優秀賞」!

豆知識!

『ヤマモモ』(楊梅=ようばい)

ヤマモモは、内陸よりの沿海地方に多いようです。土手・屋敷林・鎮守の森のヤマモモやグミが赤く熟す

田植えの終わったころは、子どもだけでなく、大人にとっても楽しみなものでした。実の白いシロヤマモモもあります。ヤマモモには雌と雄があります。花は目立たず実がなるまではメスカオスカわかりません。高松神明原公園では、公園愛護会の物置の脇にあつて季節になるとたくさんの実が落ち、果肉が朽ちてもタネが地面に残っています。食用にするには園芸店で大実の品種を求めるとよいでしょう。土佐生まれの植物学者 牧野富太郎は、十市村(現在の南国市十市)にヤマモモの木がたくさんはえていて、初夏のころ、「やまもも、えーやまもも」と声高く売って歩いたと書き残しています。



ヤマモモ (写真:平凡社「日本の野生植物」より)

今日の公園!



やはり五月はこの花が!



お知らせ!

- 六月の公園整備は四日(日)と十八日(日)で十八日は子供会と共催で町内街路の清掃なども行います。
- 六月の回収、ピン・缶は二十七日(火)、古紙は二十五日(日)です。町内会の回収活動にご協力下さい。
- 高松神明原公園愛護会は現在二十一名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。どなたでも入会が出来ますので楽しい活動にぜひご参加下さい。

連絡先・一三七五一八一 山本まで